

自治体職員必見！実務で活かす橋梁メンテナンスの効率化手法！

インフラメンテナンス国民会議
関東フォーラム

○それぞれの自治体におけるインフラメンテナンスについては、加速度的に老化が進む現状に対応が追いついていないのが実情である。

○その中においてDXを主体とした橋梁メンテナンスの先進事例の取り組みを自治体職員及び高等専門学校及び民間企業が紹介し、技術体験会を併せて実施した。このカンファレンスの中では、官民学による取り組み事例の紹介及び意見交換をすることで橋梁メンテナンスの効率化の取り組みを紹介することができた。

＜日時＞ 令和7年12月10日(水)
15時00分～16時30分
＜会場＞ 東京ビッグサイト 東ホール
＜参加者＞ 自治体、民間企業、
学生その他 約70名

＜カンファレンスプログラムの内容と流れ＞

●前橋市の取組（経緯背景、導入技術）

登壇者：前橋市道路建設課 中野課長補佐
飯塚副主幹

●新潟市の先進事例取組説明

登壇者：新潟県新潟市土木総務課 大塚主査

●紹介する4つのDX事例について

登壇者：長岡工業高等専門学校 井林教授
富士フイルム 大石マネージャ

●関東フォーラムと自治体支援

登壇者：関東フォーラム 柳澤代表幹事

●トークセッション

・自治体の取組み、新技術DXの活用

●技術体験会（4技術の体験）

司会・進行
実行委員 高山 保



意見交換の様子



技術体験会の様子



参加者の皆様



アンケートの主な回答について（計29名）

回答者属性：自治体関係者4名、民間企業22名、その他3名

＜主な回答＞

- ・自治体の困りごととその解決事例がわかり、参考になりました
- ・ユーザ(市担当者)側のプレゼンが明確でわかりやすかった
- ・行政、民間等による緊密な繋がりが必要であると思いました

カンファレンスに
参加した感想

よくなかった
3%

参加して良かった
97%